

◆◇◆仙台市人事委員会メールマガジン ～働く自分をイメージしよう！～ 2023/1/26◆◇◆

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員（造園）インタビューをお届けします！

.....
今回は、建設局公園管理課の近藤 夏実さん（造園職入庁5年目）にお話を伺いました。
職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

1. 入庁してからの異動歴等を教えてください。

平成31年4月～ 建設局百年の杜推進部公園管理課
（令和4年4月の組織改正前は建設局百年の杜推進部公園課）
※うち令和3年12月～令和5年4月：産前・産後休暇、育児休業を取得

2. 現在の職場の職員構成（人数や職種の割合など）を教えてください。

公園管理課には、課長・主幹（造園）各1名、係長（土木）2名、主査（土木）1名、総括主任（事務）1名、主任（事務・土木・造園）6名、技師（土木・造園）4名、会計年度任用職員3名の計19名が在籍しています。
職種の割合（正職員）の割合は、事務：土木：造園＝2:6:8となっています。

3. 現在携わっている事業（業務）の内容と、あなたが担っている役割を教えてください。

仙台市内に2か所ある、交通ルールやマナーを学んだり、自転車の練習をしたりする「交通公園」の今後のあり方を検討する業務の担当をしており、検討に関わってもらっている建設コンサルタント業者とのやり取りや、他都市での先行事例の収集・調査等を行っています。施設の老朽化や利用状況の把握のため、現場へ行くこともあります。基本はデスクワークがほとんどで、「見る（現状把握）」⇒「考える」⇒「調べる」⇒「打ち合わせ」といったサイクルで、より市民のみなさまに使っていただける公園となるよう日々検討を進めているところです。

4. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

(8:30～9:00 育児時間)
9:00 出勤
10:00 メールチェック・事務作業
10:00～12:00 建設コンサルタント業者と打ち合わせ
12:00～13:00 昼休憩
13:00～13:30 昼礼（毎週月曜日）
14:00～16:00 他都市先行事例の収集・調査等
16:15 メールチェック・退庁

(16:15~17:15 育児時間)

※仙台市では、始業・終業の時刻に引き続いて、1日合計90分まで育児時間を取得できます。

5. 仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか。

やはり、市民の方から感謝された時にいちばんやりがいを感じます。電話でのお問い合わせ等で「ご丁寧にありがとうございます。」とっていただいた時、お役に立ててよかったですと思います。まだ公園整備の経験がないので「自分が整備した公園！」と深く思い入れのある公園はないのですが、今年度から整備に関わる業務の担当になったため、今後そういった公園ができていくのかと思うと、造園職として大変楽しみです。

6. 職場デビューしてから1~2週間の職場での様子を教えてください。

指導担当の先輩に、庁内LAN(市役所内のグループウェア)の使い方や電話の取り方など、基本的なことを教えていただきました(電話をつなぐ「転送」が新鮮だった記憶があります)。担当業務については、副担当の先輩と一緒に前任者から引継ぎを受けました。また、これから携わっていく業務のイメージがしやすいよう、「みどりの基本計画」や管理している七北田公園などのパンフレットを準備してくださいました。年度初めに発注する業務が多いため、業務時間中、先輩方はお忙しくされていましたが、「分からないことがあったらなんでも聞いてね。」と、業務の手を止めて親切に教えてくださったり、お昼休みにはランチに連れて行ってくださったりと優しい先輩方に恵まれ、社会人として、市役所職員として少しずつ慣れていくことができました。

7. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

造園職ですが、建設局公園課(現在の公園管理課)は各区役所や総合支所にある公園課の総括的な役割を担うことも多く、事務的な業務が多いことが意外でした。(一方、区役所の公園課に配属された方の話を聞くと、市民対応等のため現場に出ることが多いようなので、配属先によって業務内容は異なるといった印象です。)また、造園職は他の職種に比べ、仙台市役所内全体で見ても人数が多くはありませんが、公園関連部署に所属する土木職の先輩方を含め“公園職”の有志による勉強会など、顔を合わせる機会もあり、部署が異なっても「分からないことがあったら気軽に聞いてね。」と声を掛けてくださる先輩が多く、とても心強かったことを覚えています。

8. 学生時代に学んだことが、今の仕事に役立っていると感じることはありますか。

樹木の同定や剪定等管理について、実習で学んだことは今でも業務に生かされています。建設局公園課(現在の公園管理課)は事務的な業務が多く、職員自らが現場で剪定作業をすることはあまりありませんでしたが、区役所や総合支所の公園課では、職員自ら公園に赴き、樹木の剪定や刈込みをすることも多いようなので、少しでも作業に慣れていくと役立つかと思えます。

また、研究室の先生のお声かけで、「市民参加」による公園づくりの場としてワークショップに参加させてもらったり、公園管理や子どもたち向けのイベント開催などを行っている地域住民による団体のお手伝いをしたりしたことは、いざ自分が公園計画を担当することとなった今、とてもよい経験だったなと感じています。

9. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。また、その時期にやっておくといいこと、やっておけば良かったと思うことはありますか。

私は合格時大学院2年生で、合格をいただいた後は、修士論文の執筆のため現地調査や文献調査に勤しむ日々を送っていました。また、研究室での活動が盛んなこともあり、公園を中心とした地域活性化についてのプロジェクトに参加したり、学園祭に向けて、子どもたちに遊び・制作を通して自然を楽しんでもらえるような企画をしたりと、学部生と一緒にって学生生活を楽しんでいました。合間を縫って、旅行に行くこともありましたが、公園、庭園、建築物など、実際に目で見て空気に触れることで、得られるものも多かったので、国内外問わず、旅行はおすすめです！

10. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます。まずは試験を乗り越えた自分にご褒美をあげてください。

私もアルバイト経験こそありましたが、市役所職員である前に、「社会人とは？」「働くってなに？」と、基本的なことが分からず、初めのうちは緊張と不安とでいっぱいでした。ですが、誰もがみんな、新人・社会人1年目を経験しています。先輩方がフォロー・サポートするのであまり気負わず安心して入庁の日を迎えてください。

また、読書、音楽、旅行、スポーツなど、仕事とは別になにか趣味があるといいですね。リフレッシュできたり、仕事にもプラスに影響することもあります。

皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしております。

.....
※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。